

第1回アフリカ健康フォーラム

『アフリカ健康創造』 ～エイズ・エボラ・多くの悲しみを乗り越えて～

主催： 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会(AJF)、東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座

協力： 特定非営利活動法人HANDS、公益財団法人ジョイセフ

【日時】 2017年11月13日(月)19時～21時

【プログラム(敬称略)】 進行： 横田雅史 AJF 事務局長・HANDS 代表理事

・主催者挨拶、アフリカ健康フォーラムの紹介、ほか

・第1部(プレゼンテーション)

- 「SDGs 時代とアフリカの保健医療～これまでの変遷と今後の課題・方向性」
- 1) 杉下智彦 東京女子医科大学医学部国際環境・熱帯医学講座 教授・講座主任
「開発援助の変遷： 帝国主義からSDGs」
 - 2) 稲場雅紀 アフリカ日本協議会国際保健部門ディレクター
「国際保健と市民社会：アフリカの保健問題とのかかわりから」

・第2部(意見交換)

- 1) 参加型対話
(テーマ) MDGsからSDGsへ、SDGs時代の日本の役割(政府、市民社会、企業など)
官民連携、ソーシャルビジネス など
- 2) 本フォーラムの今後の進め方について
・テーマ、スピーカー、運営ボランティアなど

【講師紹介】

1) 杉下智彦

東北大学医学部卒業。ハーバード大学院(公衆衛生学)、ロンドン大学院(医療人類学)、ケニアのグレートレイク大学院(地域保健学)。22年前に青年海外協力隊でマラウイに外科医として渡ってから、国際協力機構アドバイザーとして、アフリカを中心に30か国以上で保健システム案件の技術指導に携わる。2015年に策定されたSDGsの国際技術委員。2014年ソーシャル・ビジネス・グランプリ大賞、2016年医療功労賞受賞。東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座(教授/講座主任)。

2) 稲場雅紀

1969年生。1990-94年、横浜の日雇労働者の街、寿町の日雇労働組合(日雇全協・寿日雇労働者組合)の医療班の事務局長として日雇労働者の保健・生活相談を担う。1994-2002年、「動くゲイとレズビアン」のアドボカシー分野ディレクター、のちに副代表理事。2002年よりアフリカ日本協議会にて、アフリカのHIV陽性者のNGO等との連携・協力を努める。その後、MDGsの推進、SDGsの形成プロセスへの提言活動などを経て現在、(一社)SDGs市民社会ネットワーク専務理事・事務局長。

【第2回アフリカ健康フォーラムの案内(予定)】

- ・日時： 2018年1月30日(火)19時～21時
- ・会場： 東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座 会議室
- ・テーマ： 「HANDS x ジョイセフ：アフリカにおけるNGOの役割と未来」

アフリカ日本協議会(AJF)：入会・寄付のお願い

AJFの活動は皆さまの温かいご協力によって遂行することができております。今後も充実した活動ができますように、皆さまからのご支援・ご寄付をよろしくお願いいたします。

- ・銀行口座： 三菱東京UFJ銀行上野支店 普通口座 5305887 「トクヒ」アフリカニホンキョウギカイ
- ・郵便振替口座： 00120-3-573276 「特定非営利活動法人アフリカ日本協議会」